



新しい朝

府中市立府中第十中学校

学校だより No.1

平成30年4月12日

良い習慣

校長 竹内 康裕

1年生85名、2年生117名、3年生101名、計303名の学校生活が始まりました。凜とした空気の中、始業式そして入学式が行われました。期待と不安の混在した緊張感と共に前向きな姿勢が随所に見られ、今年度も充実と飛躍を予感します。たくさんの生徒がこの節目にあたり決意を新たにしています。この清々しい気持ちから湧き上がる前向きな発言や行動が習慣としていつまでも続くことを期待しています。

人間は95%を習慣で生きているという記事を読んだことがあります。私たちの毎日は習慣で成り立っていますし、発言や行動のもとになる「考え方」も習慣と大きく関わっています。95%の根拠はともかくとして、習慣がその人の人生に及ぼす影響はとて大きいと思います。当然、良い習慣が身につけている人は豊かな人生を送れます。「早起き」「明るいあいさつ」「整理整頓」「約束や時間を守る」「目を見て話を聴く」「人のために働く」「思いやり」・・・など、誰もが教わってきたことはいつの時代にも繰り返し教え継がれてきました。それだけ大切なのです。

しかし残念ながら、どの人にも弱く醜い部分があります。時に、面倒だからと言ってやらなかったり、身勝手な考えや発言があったりします。そのようなことを繰り返しているうちに好ましくない癖が無意識のうちについてしまいます。いや、無意識でいるから体にしみ込んでしまうのです。

固まってしまった習慣を変えることは簡単なことではありません。それまでしみ込み続けた時間が長ければそれだけ改めるにも時間がかかり、費やすエネルギーも大きくなります。私たちが子供のときにそして今でも、時には反発を覚えるくらいまでに家族や大人から繰り返し躰けられているのはこのためです。

中学校を卒業してからも大小様々な節目や試練を迎えます。実社会においても学力は高い方がいいのは言うまでもありませんが、その大前提として、その人に「人としてきちんとした考え方や行動がしっかりと身につけていること」が問われます。その人は良い習慣を身に付けているか、信頼のできる人か、広く正しい考え方をしているか、それが習慣として行動に現れているか、等です。どんなに高い学歴や力があっても、正しい考え方や行動が身につけていない人の行く末はとて心配です。考えや行動は人柄として現れます。それが良い習慣であれば、少しの心掛けを続けていくだけで生涯続き、必ず人生に幸せをもたらします。商売をすればお店の雰囲気にも現れますし、ものを作っている人はものづくりに現れます。

メジャーリーグでも有名な元プロ野球選手の松井秀喜選手は彼の高校時代の恩師、山下智茂監督の教えを忘れずに努力をしていたそうです。それは、「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」です。正しい考え方によって、良い習慣が確実に自分のものになり、生涯の財産になることを願っています。

今年度もよろしく願いいたします。